



善任以來一方案

第一 当此ノ最有力ナル者

略者結交し其行同如
之之切實カシキ事ナリ

現在其人ハ恭親王及

子同和ナルニ似タリ尤モ

國々ノ故時ノ浮動スレ

大抵ノ事ハ在り人ノ

振レハ拒止スルハ力

ナシアリ、李ハ外勢ニ

ケレ厄ハテ曰ハシ

大ナラスト云々セ

徒外ニ公使ハ今ニ

一人モ在、恭親王

ハ日ハ者ナシ、何

話シガ今ハナルヲ

再々ハハシ、漢者

通スルヲ以テ、

其者、昔ニテ、

ビキナル、便見

行シタルヲ、

親ニテ、おソル

行はれタルヲ以テ右ノ方面ヲ
親ニテおソルル方便ヲ所
ル

少生ニ善任候儀ニ之テ月

以内ニ為氏ハ已ニおせ

向テ私ノ訪問故為レ而

令レ御求メ一ツ言ハル親

話ヲ為スニおしリ、追々ニ

近ツキルヘシト行ヒテ今

其ノ方法ヲ為引致ス

施シセリ

又、李モおせニ私ノ訪問

故為レタリ

右ノ様ニおせカ皮物心外

私ノ安ラハツ所ノ方便ヲ

用ヒシニ依リ如也

有力ニ有候者ト親又

スルニおしレ、御苦切御力

テ他おノ御キヲ暗ニ承

ニ妨ケ得ルヲ能ク為レ又

御苦切御力ニテ御ト

提提御力スルノ利ヲ言及ラ

シメ給フシ

つ由氏ニ已ニ結合ス

ヲ御キタルニ因リ、今ハ其

シメ給つし

つゆ氏に己に結交し
てつ希き人にて困る。今其
親王に向はし路切つ希
て道ヲセしり

多ク外人に接せん日

木子にあらん難き我
多ク外人に接せん日

テ唯或は此令に之
利用せらるるにキカレ

為氏に接交せし
氏に接せんモ其夕難
我に唯其節ヲ制せん

止りしめ如以テ
カスるるに難きアタリ

他外おほし使ノ
之を以て之に強國に唯

威力如以テ外部
其節自勵せんに之
其用とせらるるに在
一ツ葉ナレバ我不

之に倣フヲ不
シロ彼昔の親近スル

テ唯一ノ方便ト
之に倣フヲ不

シロ彼昔の親近スル

テ唯一ノ方便ト

之に倣フヲ不

シロ彼昔の親近スル

テ唯一ノ方便ト

之に倣フヲ不

シロ彼昔の親近スル

テ唯一ノ方便ト

之に倣フヲ不

シロ彼等、親近スルヲ以

テ唯一ノ方便ト考ヘ故也

(但シ公物ト公物ト判

サシ別子トス)

右ノ第一案ハハヤク善任任

ホニキ年ヲ旨ケ己ニ端結

ハタリト行ヒセリ

第二 人民ニ對スル事 支那ノ人心ヲ陰誘シ

ソ兼テ日本ガ親レ離レ離キ

心ヲ生セシムル事

右ハ社中雜誌ノ力ヲ第一

者ト特ニ南方ハ人文ノ進

ニ數ニテ支那ノ言論ハ南方

ヨリ北方ヲ重カスノ見込ナリ

依テハ南方ハ各地社中雜誌社ニカシ

名ノ日本記者ヲ振リサ時クノ

道ヲ求メ、先般申上ケタル

事ヨリ年報中ナリ、右方ヨリ

已ニ四名ノ名報申入シ、今

先方ヨリ入報約書ノ未

ルヲ待テナリ

給料ノ点ニ於テカレ振合

ヒ未定ノコトナリ、事ニ其の

其の給料ノ内助ヲ云

給料ノ点ニ指下カレ相合
ニ未定ノコトアリ、るニ其の
具心助ニ給料ノ改助ヲ云
フニ此上ルヤモ、計リ難シ

右ハ小せし書任返 ありきキ
下タレシ道ヲ求メタル者ナリ

北方ニモ必要ト云へ先般

天津ノ国守報ニモ一人ヲ入

レシガリト云カセリ(是社ノ

組織ハ邦人カ業分カ決メ

ルモト出サ子ニ実効見東

ナキヤノ波アリ)直ニテ詳

報スルシ

如東ノ方針

第三 当世ノ改法上宜る上ニ

主脚ノ地ヲ北リ、美一他年

当世カ臥人令セラレノ不古チアルキ

我邦カ列國ノ仲寫入りヲ為シテ

一、分々前ヲ可ラぬへキ地也

ヲ北リ生クコト

且正事ハ且取對シテ、ニシテ或ル

様合ノ来ルヲ、カガカガ明後ム

振ニ為ス、外ナシ

了了、支那カ清ノ保福、十の二ニ

ツコトヲ思立キ、シモ日子ニ見

ハ一方ニ、重金増税ノ利

権ヲ押へ、鉄リ道其地貿易

る事重し不此注さ改し
在りり時々は訓電子
しこつ心あなり

以上ハ、着任以後、着年ノ
大要ナリ

一、^{（若くは）}あこ^{（若くは）}せし我カ新張^{（若くは）}

小生ノ事ヲ記スルアリ、或ハヒキテ

ヲ食ルトカ、^{（若くは）}外ノ事柄ニハ、

記スレモ、小生ノ行動ハ極テ秘

密ニシテ、且ツ大切ノ事柄ニハ、

分^{（若くは）}マメナリ、^{（若くは）}外ニ使^{（若くは）}録^{（若くは）}出入

モセサル公羽^{（若くは）}事ヲシテ及ヒ事申

事ヲシテ、^{（若くは）}私ノ訪問ヲ為サレハルカ如キ

他^{（若くは）}諸公使^{（若くは）}在^{（若くは）}テハ、

新^{（若くは）}張^{（若くは）}ニシテ、^{（若くは）}他^{（若くは）}ノ公使

杯^{（若くは）}ニシテ、^{（若くは）}事ヲシテ、^{（若くは）}行^{（若くは）}ヒテ、

又公使^{（若くは）}仲^{（若くは）}百^{（若くは）}ノ交^{（若くは）}際^{（若くは）}ニ思^{（若くは）}ヒシコト

空^{（若くは）}易^{（若くは）}ニシテ、^{（若くは）}彼^{（若くは）}苦^{（若くは）}ノ^{（若くは）}返^{（若くは）}答^{（若くは）}者^{（若くは）}不^{（若くは）}在

中^{（若くは）}ニ、^{（若くは）}訪^{（若くは）}方^{（若くは）}ナ^{（若くは）}レ^{（若くは）}レ^{（若くは）}モ、^{（若くは）}十^{（若くは）}月^{（若くは）}初^{（若くは）}旬^{（若くは）}頃

京^{（若くは）}ノ上^{（若くは）}ニ、^{（若くは）}互^{（若くは）}ニ、^{（若くは）}親^{（若くは）}交^{（若くは）}付^{（若くは）}キ、^{（若くは）}未^{（若くは）}だ^{（若くは）}臨^{（若くは）}シ

ヒ、^{（若くは）}し

あ^{（若くは）}ら^{（若くは）}し^{（若くは）}御^{（若くは）}事^{（若くは）}取^{（若くは）}扱^{（若くは）}ハ、^{（若くは）}宜^{（若くは）}ク^{（若くは）}申^{（若くは）}上^{（若くは）}ス

い^{（若くは）}ふ^{（若くは）}御^{（若くは）}事^{（若くは）}取^{（若くは）}扱^{（若くは）}ス

十月、亦九

謹啓

市清上康多暇近首

と秋候に市近況は詳

にしの為道分は多勢ト

とあり河の干立分市加勢

と折勢也小生と六月下旬

任以来九月中旬迄は是

と入るもの申分多し市は

と少病々しと安かりしと

と市子候より秋涼とあり元氣

と回復に健全清光瑞々

と名候は故念とあり

と当ゆも表而は秋候に

と二之儀候、度候に随分

と治政にシテ

と家候に小生に言旨任以來

と心懸り及上り者年々と

と有し市況にあり

有... 而覽... なる

而覽... なる

なる... なる

なる... なる

福令... なる

都令... なる

當也... なる

連... なる

十月... なる

好... なる

... なる

... なる

愉快... なる

... なる

伯夫人... なる

... なる

... なる

十月... 九

父... 大

下... 下

下... 下

伯魯大隈重吉承

人本

市親披要件



發

北京

十月廿九日

王大聖文
大雅

